

# 市況情報

2019.August

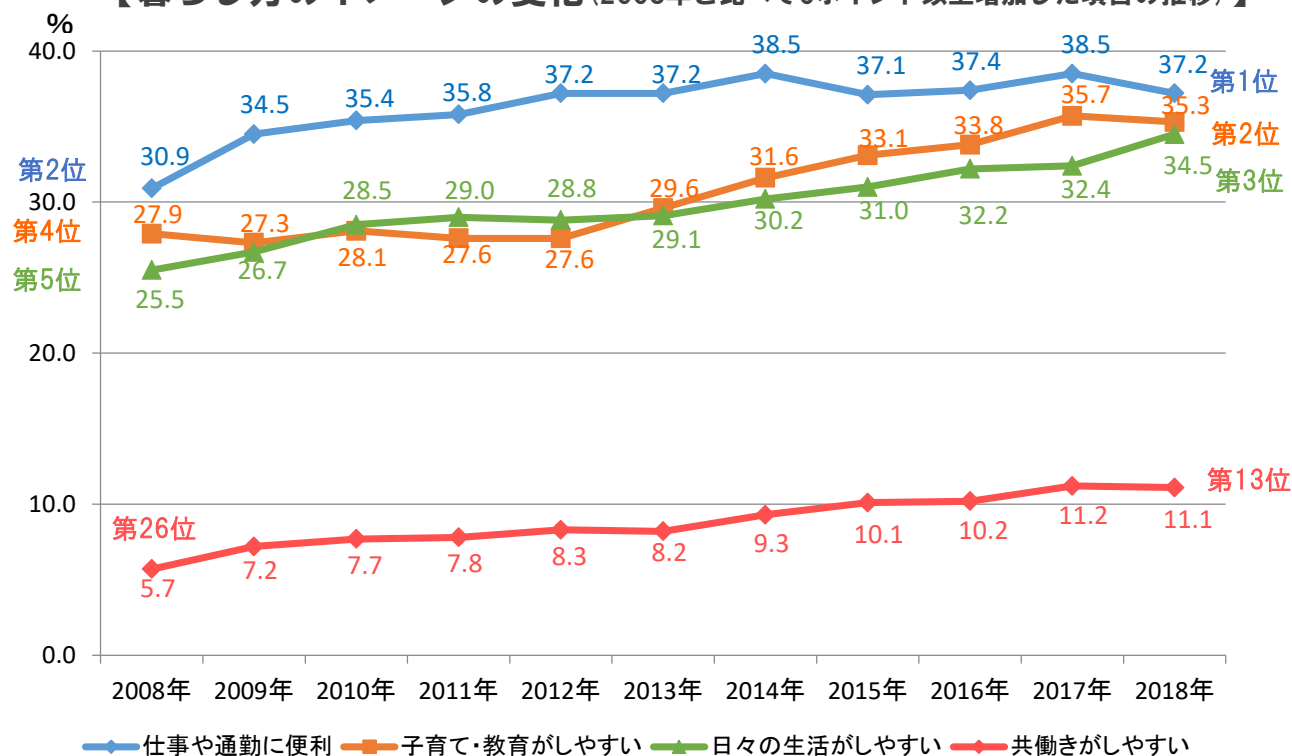
## 暮らし方が変化。共働き世帯の増加に伴って「住まい」へのニーズも変化している

住まい探しの際にイメージした暮らし方で上位を占めるのは「仕事や通勤に便利」、次いで「子育て・教育がしやすい」「日々の生活がしやすい」となっています。また、2008年以降の変化を見ると「共働きがしやすい」の優先順位は26位から11位へ大きく上がっています。共働きが当たり前の現代において、20代、30代のライフスタイルの変化に伴って、住まいの指向性も大きく変わってきています。ユーザーのニーズに合わせた住まいづくりが重要です。

【暮らし方のイメージ（2018年度・上位20）】

順位	項目	回答率 (%)
第1位	仕事や通勤に便利	37.2
第2位	子育て・教育がしやすい	35.3
第3位	日々の生活がしやすい	34.5
第4位	居住空間にゆとりがある	31.8
第5位	日当たりの良い生活ができる	28.8
第6位	買い物に便利である	23.5
第7位	各方面にアクセスが良い	21.3
第8位	心のゆとりが得られる	19.6
第9位	都心に近い	19.2
第10位	安全な暮らしができる	15.1
第11位	見晴らしや眺望がいい	14.8
第12位	休日を楽しめる	12.6
第13位	家事がしやすい	11.1
第13位	共働きがしやすい	11.1
第15位	緑のある暮らしが楽しめる	9.8
第16位	家族のだんらんが得られる	9.7
第17位	静かな生活ができる	9.4
第18位	時間のゆとりが得られる	9.0
第19位	親族・友人が呼べる	9.0
第20位	高級感がある	7.3

【暮らし方のイメージの変化（2008年と比べて5ポイント以上増加した項目の推移）】



注1：調査対象は2018年1月～2018年12月の首都圏（東京都・神奈川県・埼玉県・千葉県）新築分譲マンション購入契約者

注2：50項目中5つまでの限定回答 ※(株)リクルート住まいカンパニー「2018年首都圏新築マンション契約者動向調査」(2019/3/14公表)調べ

出典：国土交通省「不動産業ビジョン2030」